



Simply Better Connections

KA8585

KVM over IP コンソールステーション (4Kクアッドディスプレイ対応)

ユーザーマニュアル

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルは、ATEN International Co., Ltd. が作成した英語版ユーザーマニュアルをもとに、ATEN ジャパン株式会社が機械翻訳をベースに作成したドキュメントです。

日本国内のお客様への便宜を図る目的で公開していますが、用語や表現は機械翻訳による、表記ゆれなどがございます。

本マニュアルには、グローバル共通となる英語版を翻訳したため、日本国内で取り扱いのない製品情報が含まれる場合があります。

製品の取り扱いや仕様などは日本国内の法規に抵触する内容を除き、基本的に英語版ユーザーマニュアルが準拠となります。正確性を要する場合は、本マニュアルは英語版を読む際の補助テキストとしてご利用ください。

なお、内容に不備や誤りなどがございましたら、お手数ですが ATEN ジャパン株式会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

適合性に関する宣言

連邦通信委員会(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

本製品は、FCC(連邦通信委員会)規則のパート15に準拠したデジタル装置クラスAの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供するためのものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

この機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意事項

本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

警告

この装置を居住地域で使用すると、電波干渉を引き起こす可能性があります。



HDMI商標に関する宣言

HDMIの外観的識別要素(トレードドレス)およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会および理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。

ユーザー情報

オンライン登録

ご購入製品は、オンラインサポートセンターにご登録ください。

インターナショナル	http://eservice.aten.com
-----------	---

電話によるサポート

電話でのお問い合わせは、以下の窓口までご連絡ください。

インターナショナル	886-2-8692-6959
中国	86-400-810-0-810
日本	81-3-5615-5811
韓国	82-2-467-6789
北米	1-888-999-ATEN ext 4988 1-949-428-1111

ユーザーの皆様へ

製造元は、このマニュアルに記載されているすべての情報・ドキュメント・仕様を、事前の通知なしに変更する場合があります。製造業者は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムに欠陥があることが判明した場合、購入者（メーカー、代理店、または販売店を除く）が、必要なすべてのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担します。

このシステムの製造元は、この装置に対して許可されていない変更に起因する無線やTVへの干渉には責任を負いません。このような干渉の訂正は、ユーザーの責任です。動作前に正しい電圧設定を選択していない場合、製造元はこのシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいか確認してください。

製品情報

すべてのATEN製品について、また、制限なく接続できる方法については、弊社ウェブサイトアクセスするか、またはATEN販売代理店にお問い合わせください。所在地と電話番号の一覧については、弊社ウェブサイトアクセスして、ご確認ください。

インターナショナル	http://www.aten.com
北米	http://www.aten-usa.com

同梱品

すべてのアイテムが正常に動作しているか確認してください。問題が発生した場合は、購入元にお問い合わせください。

- ◆ KA8585本体 × 1
- ◆ 電源アダプター × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

本マニュアルについて

本書は、KVM over IP コンソールステーション KA8585を最大限に活用していただくためのマニュアルです。製品のセットアップ・設定・操作に関する情報をまとめています。

注意:

- ◆ 製品本体や接続機器が破損しないように、必ず、本マニュアルの内容に従ってセットアップや操作を行ってください。
 - ◆ 本書のリリース以降、製品の機能や特長が追加・改良・削除されることで、内容がアップデートされる場合があります。最新の取扱説明書については、<http://www.aten.com/global/en>をご覧ください。
-

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

- [] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。
- 1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作してください。
 - ◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順ではありません。
 - > (メニューやダイアログボックスなどで)連続したオプションを選択します。矢印は操作の手順を示します。例えば、「スタート」>「実行」は「スタート」メニューを開き、「実行」を選択する操作です。



重要な情報です。

目次

適合性に関する宣言	i
ユーザー情報	iii
オンライン登録	iii
電話によるサポート	iii
ユーザーの皆様へ	iii
製品情報	iv
同梱品	iv
本マニュアルについて	iv
マニュアル表記について	v
目次	vi
第1章 はじめに	1
概要	1
特長	2
導入要件と注意事項	3
セットアップ時の考慮事項	3
対応製品	3
第2章 ハードウェアのセットアップ	4
概要	4
セットアップの前に	4
製品各部名称	5
セットアップ	7
ラックへのマウント	8
KA8585の電源オフ	8
第3章 管理コンソール	9
概要	9
管理コンソールへのアクセス	9
メイン画面	10
制御モード	12
アレイ監視モード	13
個別入力の設定	16

レイアウト設定.....	20
新規レイアウトの追加.....	20
作成済みのレイアウトを開く.....	21
レイアウト名の変更.....	22
レイアウトの削除.....	23
レイアウトを閉じる.....	24
第4章 デバイス管理.....	25
概要.....	25
デバイスの追加.....	25
デバイス認証情報の更新.....	27
デバイスの削除.....	28
第5章 システム設定.....	29
概要.....	29
アカウント管理.....	29
ユーザーアカウント.....	29
グループアカウント.....	33
アカウントポリシー.....	36
システム管理.....	37
システム設定全般の確認.....	37
ネットワーク設定.....	38
ANMS.....	40
セキュリティー.....	42
日時設定.....	43
メンテナンス.....	45
システムファームウェアのアップグレード.....	45
設定のバックアップ.....	45
バックアップからのシステム構成の復元.....	46
ターミナル.....	47
モニターの配置設定.....	49
デフォルト設定へのリセット.....	50
システムメンテナンス.....	51
パスワードの変更.....	51
KA8585の再起動.....	51
ユーザー環境設定.....	51

付録	58
安全にお使いいただくために	58
全般.....	58
ラックへのマウント.....	60
技術サポート	61
インターナショナル.....	61
北米.....	61
仕様	62
トラブルシューティング	64
操作全般.....	64
マウス操作.....	65
ATEN保証ポリシー	66

第1章 はじめに

概要

4K クアッドディスプレイ KVM over IP コンソールステーション KA8585は、複数のKVM over IP製品(ATEN CN9 シリーズ、KG シリーズなど)に接続されたサーバーやPCを、IP ネットワーク経由で集中管理できるLinuxベースのステーションです。PCを使用しない環境でも、KVM over IP製品で管理しているサーバー／PC をリアルタイムでリモート制御・監視できます。本製品は最大4台のディスプレイに対応し、効率的な制御・監視を行うための広いワークスペースを提供します。

本製品には、幅広い制御・監視ニーズに対応する2つの操作モード(制御モード／アレイ監視モード)が用意されています。制御モードでは、コンソールのキーボードとマウスを使用して管理対象デバイスを監視・操作できます。一方、アレイ監視モードでは、最大64の映像ソースを同時に監視できます。また、本製品から管理対象デバイスのウェブGUIにアクセスすることも可能です。いずれのモードでも、インフラ構成や利用シーンに合わせてレイアウトを柔軟にカスタマイズできます。

特長

- ◆ PCに代わってKVM over IP製品へのアクセスを実現する高性能なオールデジタル・スタンドアロン・コンソール
- ◆ KG/CNシリーズのKVM over IP製品から出力された4K映像を、にじみを感じさせず鮮明に再現
- ◆ ウイルスの脅威に対して堅牢なセキュリティと万全のデータ保護を提供
- ◆ 複数のKG/CNシリーズのKVM over IP製品を統合管理可能
- ◆ Panel Array Mode™ Live+ – 設定可能なマルチスクリーン・レイアウトで、全ポートから出力された動画フィードをリアルタイム監視
- ◆ アレイ表示は必要に応じて変更可能、モニター1台あたり8×8表示が可能で最大64台、4画面で最大256台のサーバーをリアルタイムで表示可能
- ◆ 直感的で柔軟な表示オプション – 特定のアプリケーション要件に応じて、画面ごとに制御モードまたはアレイ監視を設定可能
- ◆ 制御モードのレイアウトで各ポートの映像を小サイズのウィンドウで表示 – PoPまたはPbPモードにおけるサイズ変更や表示、アイコンの操作による自動配置が可能
- ◆ クアッドディスプレイ対応 (HDMI、DisplayPort 各2ポート) – 1組のキーボードとマウスで4台の4Kディスプレイを操作可能
- ◆ マルチスクリーンコントロール機能 – マウス移動だけで4画面間をシームレスに切り替えて、複数のサーバーをスムーズに操作
- ◆ 拡張デスクトップをサポート – リモート接続されたPCの画面をKA8585の4画面に拡張表示
- ◆ 多言語対応GUI

導入要件と注意事項

セットアップ時の考慮事項

- ◆ ネットワークインフラで最低1Gbpsの帯域幅が利用可能であることを確認してください。
- ◆ 制御モードの使用には、ネットワーク帯域幅とKA8585側に十分なCPUリソースが必要です。最適なパフォーマンスを得るために、1台のディスプレイに制御モード、残りの3台のディスプレイにアレイ監視モードを設定することを推奨します。
- ◆ 最適な環境で操作できるよう、制御モードに2×2レイアウトの使用を推奨します。

対応製品

本製品は、ATENの一部のIP-KVMスイッチと互換性があります。対応製品とアクセサリの一覧については、ウェブサイトの製品ページをご覧ください。

第2章

ハードウェアのセットアップ

概要

この章では、KA8585のセットアップに関する注意事項と手順の詳細を説明します。

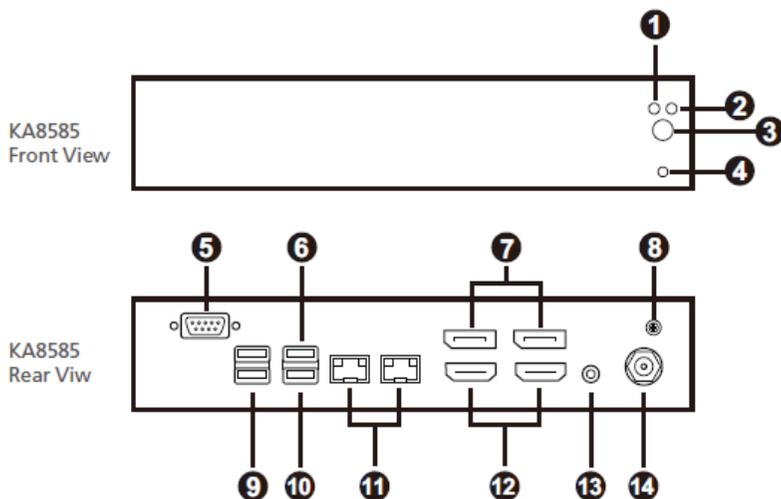
セットアップの前に



1. 本製品の設置および接地に関する重要な安全上の注意事項は、p.58以降に記載されています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 接続するすべてのデバイスの電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここからも電源ケーブルを抜いてください。
3. 環境温度が高い場合は、注意してデバイスを操作してください。このような条件下では、デバイスの表面が過熱する可能性があります。例えば、環境温度が50°Cに近づくと、デバイスの表面温度が70°C以上になる場合があります。

製品各部名称

KA8585の接続ポート、LED インジケーター、およびデバイスパネル上のその他の操作部の概要については、以下の図と表を参照してください。

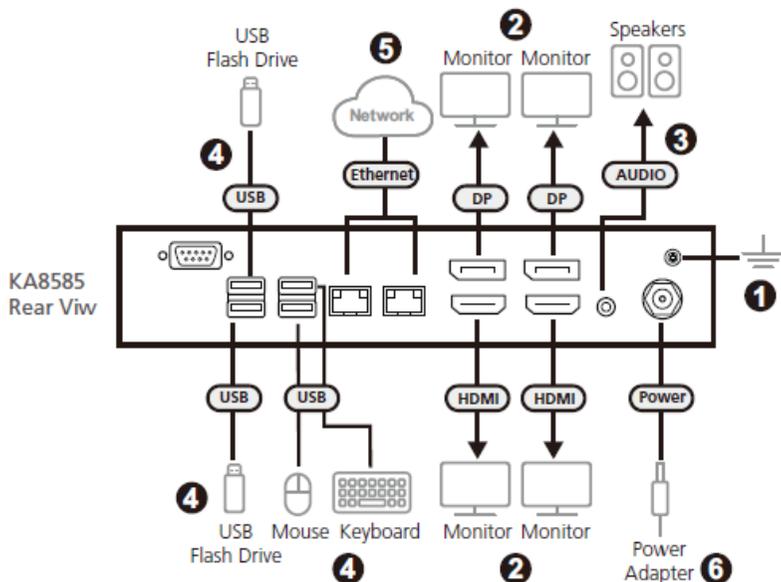


番号	名称	説明
1	SSD LED	データ送信中はLEDが点滅します。
2	電源LED	KA8585に電源が供給されている場合、LED が点灯します。
3	電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 電源オン: 1回押すと、KA8585に電源を入れます。 電源オフ: 4~5秒間押し続けると、KA8585の電源を切ります。
4	リセットボタン	ピンなど先の細いもので3秒間押し続けると、KA8585が工場出荷時の設定に戻ります。これにより、デバイスのシステム設定とネットワーク設定が初期化されます。
5	RS-232シリアルポート	将来の拡張用に予約されています。

番号	名称	説明
6	USB Type-Aポート	キーボードを接続します。
7	DisplayPort出力	最大2台のDisplayPortモニターに接続します。
8	グラウンドターミナル	接地線を接続します。
9	USB Type-Aポート (ストレージ)	ファームウェアアップグレード用にUSBストレージを接続します。
10	USB Type-Aポート (マウス)	USBマウスを接続します。
11	RJ-45ポート (LAN 1 / LAN 2)	2つのイーサネットポートにより、ネットワークの冗長化に対応します。
12	HDMI出力	最大2台のHDMIモニターに接続します。
13	オーディオ出力	スピーカーを接続します。
14	電源ジャック	付属の電源アダプターから電源が供給されます。

セットアップ

KA8585のセットアップについては、以下の図と手順を参照してください。



1. 接地線の片端をグランドターミナルに、もう片端を適切な接地ポイントに接続して製品本体を接地します。

注意:

この手順は省略しないでください。接地を行うことで、静電気や電圧変動による故障を防ぎます。

2. KA8585のDisplayPort出力ポートにDisplayPortモニターを2台接続し、HDMI出力ポートにHDMIモニターを2台接続します。
3. KA8585のオーディオ出力ポートにスピーカーを接続します。
4. KA8585のUSB Type-Aポートに、USBキーボード、USBマウス、およびUSBフラッシュドライブ(最大2台)を接続します。

5. KA8585には2つのRJ-45ポートが搭載されています。RJ-45ポート(LAN 1/LAN 2)をCat 5e/6/6aケーブルで接続し、ネットワークを冗長化します。
6. KA8585本体に電源を供給します。付属の電源アダプターをAC電源に接続し、アダプターのケーブルをKA8585のDC電源ジャックに差し込みます。
7. 本体の電源ボタンを押して、KA8585に電源を入れます。

ラックへのマウント

KA8585は、ATEN標準マウントレール用2-in-1Uマウントプレート 2K-0008を使用してラックに取り付けることができます。このアクセサリの詳細については、ウェブサイトの製品ページでご確認ください。

KA8585の電源オフ

KA8585の電源をオフにする必要がある場合は、本体フロントパネルにある電源ボタンを4～5秒間長押ししてください。

第3章

管理コンソール

概要

KA8585は、複数のKVMスイッチを監視できる統合管理ステーションです。管理者は管理コンソールにログインし、これらのKVM over IPデバイスに接続されたPCやサーバーをリモートで監視・制御することができます。

管理コンソールへのアクセス

KA8585の管理コンソールにアクセスするには、ログイン画面でユーザーネームとパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。「リセット」をクリックすると、入力した内容を消去します。

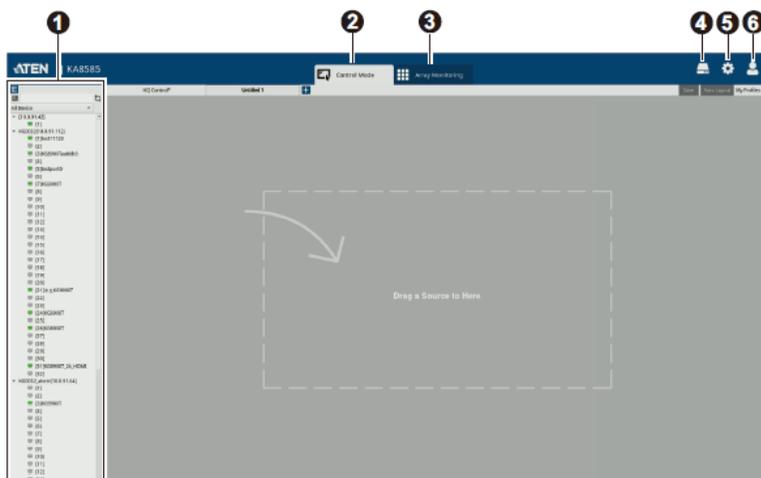


注意:

初回ログイン時は、デフォルトのログイン認証情報(ユーザーネームは「administrator」、パスワードは「password」)を使用します。セキュリティ上の理由により、続行するには認証情報の変更が必要です。

メイン画面

KA8585にログインすると、次のようなメイン画面が表示されます。初期状態では、「制御モード」タブが選択されています。メイン画面の各操作項目と機能の概要については、下表を参照してください。



番号	制御	説明
1	ポート一覧	追加されたデバイスの各ポートに接続されているサーバーまたは PC と、その接続状態(オンライン/オフライン)を表示します。
2	制御モード	「制御モード」パネルを開き、リモート制御・監視を行います。詳細については、p.12「制御モード」を参照してください。
3	アレイ監視	アレイ監視パネルを開きます。詳細については、p.13「アレイ監視」を参照してください。
4	デバイス管理	「デバイス管理」ページを開き、デバイスの追加・削除・変更を行います。詳細については、p.25「第4章 デバイス管理」を参照してください。
5	システム設定	詳細については、p.29「第5章 システム設定」を参照してください。

番号	制御	説明
6	アカウント管理	<p>このタブをクリックすると、以下の設定にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ パスワードの変更: 現在ログインしているアカウントのパスワードを設定します。 ◆ ユーザー環境設定: KA8585の管理コンソールの外観に関する設定を行います。ここには、インターフェース言語やレイ監視画面と制御モード画面の外観などが含まれます。詳細については、p.51「ユーザー環境設定」を参照してください。 ◆ ログアウト: KA8585の管理コンソールからログアウトします。 ◆ 再起動: KA8585を再起動します。 ◆ シャットダウン: KA8585をシャットダウンします。 ◆ 製品情報: デバイスモデル、ファームウェアバージョン、KA8585のIPアドレスなどのデバイス情報全般を表示します。

制御モード

「制御モード」タブでは、KA8585に接続されたキーボードとマウスから、1台のディスプレイ上に表示された最大 4×4(16)の映像ソースをリモート制御できます。「制御モード」タブの概要については、下表を参照してください。



番号	制御	説明
1	レイアウトタブ	開いているレイアウトがすべて表示されます。このタブをクリックすると、別のレイアウトに切り替わります。
2	プレビューパネル	ソースのプレビューを表示します。この図は、2×2パネル(4グリッド)を示しています。
3	保存	クリックすると、現在表示しているレイアウトを保存します。
4	自動レイアウト	空白の入力を自動的に削除し、表示されているソースを制御モードパネル上で左から右、上から下の順に再配置し、各ソースをグリッドに合わせて調整します。
5	マイプロフィール (レイアウト)	クリックすると、作成したレイアウトまたはレイアウト管理ウィンドウ(p.22)にアクセスします。

アレイ監視モード

「アレイ監視」タブでは、1台のディスプレイ上で最大8×8(64)の映像ソースをリアルタイムで監視できます。



番号	制御	説明
1	レイアウトタブ	開いているレイアウトがすべて表示されます。このタブをクリックすると、別のレイアウトに切り替わります。
2	プレビューパネル	ソースのプレビューを表示します。この図は、2×2パネル(4グリッド)を示しています。
3	保存	クリックすると、現在表示しているレイアウトを保存します。
4	マイプロフィール (レイアウト)	クリックすると、作成したレイアウトまたはレイアウト管理ウィンドウ(p.22参照)にアクセスします。

アレイ監視ツールバー



番号	制御	説明
1	フィルター	<p>表示する入力を絞り込みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ オンラインのみ: オンラインのデバイス(ポート)のみを表示します。 ◆ すべて展開/折りたたむ: 追加された各入力(ポート)を1グリッドずつ展開するか、折りたたんで非表示にします。このオプションをクリックすると、2つの表示状態を切り替えられます。
2	アレイ構成	<p>アレイ構成を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ キャンパスに合わせる: 入力のアレイ監視プレビュー領域に可能な限り大きなサイズで収まるよう、自動的にアレイ構成を選択します。 ◆ カスタマイズ: アレイ構成を手動で設定します。
3	最初のページへ移動	<p>クリックすると、アレイ監視ビューの最初のページに移動します。</p>
4	前のページ	<p>クリックすると、アレイ監視ビューの前のページに移動します。</p>
5	現在のページ	<p>アレイ監視の現在のページと総ページ数を示します。</p>
6	再生/一時停止	<p>クリックすると、入力ストリーミングを再生または一時停止します。</p>
7	次のページ	<p>クリックすると、アレイ監視ビューの次のページに移動します。</p>
8	最後のページへ移動	<p>クリックすると、アレイ監視ビューの最後のページに移動します。</p>
9	ページ切り替え間隔	<p>アレイ監視パネルが次のページを表示するまでの時間間隔を設定します。</p>

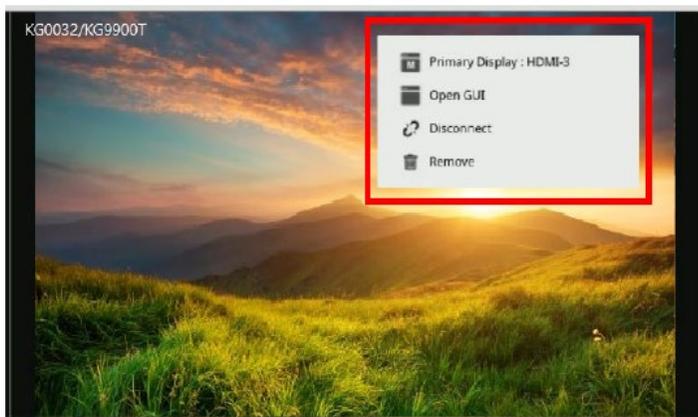
番号	制御	説明
10	画面に合わせる/ 元の比率を維持	クリックすると、モードを「画面に合わせる(グリッド)」または「元の比率を維持」に切り替えます。
11	フルスクリーンに拡大	クリックすると、アレイをフルスクリーンに拡大します。これにより、ポートリストとツールバーが非表示になります。

アレイ監視モードの個別入力設定

1. 個別の映像ソースを設定するには、カーソルをソースの右上隅に移動します。このとき、「メニュー」ボタンが表示されます。



2. 「メニュー」をクリックして設定にアクセスします。



制御	説明
プライマリーディスプレイ: HDMI-3	このソースを、KA8585のポート 3(HDMI)に接続されたモニターに表示するプライマリーディスプレイとして設定します。ソースをプライマリーにすると、グリッドはフルスクリーン表示に切り替わります。フルスクリーンを閉じてアレイ監視パネルに戻るには、アレイ監視ツールバーの  をクリックします。
GUIの起動	サーバーまたはPCのウェブGUIを開きます。
切断	ソースをKA8585から切断します。
削除	このソースをグリッドから削除します。

個別入力の設定

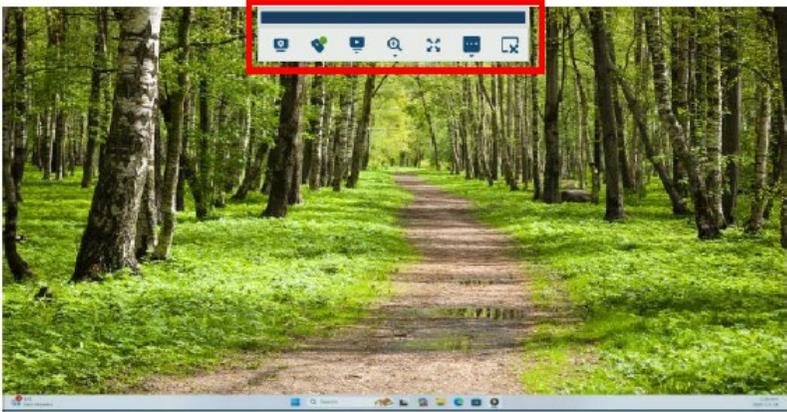
ツールバーを使用して、個別入力の表示設定を行います。

ツールバーへのアクセス

- 次のいずれかの方法でツールバーにアクセスします。
 - ◆ 「アレイ監視」タブをクリックします (操作2に進みます)。
 - ◆ 「制御モード」タブをクリックします (操作3に進みます)。
- 入力をダブルクリックすると、フルスクリーンに拡大表示されます。
- カーソルをグリッドの上部中央に移動すると、矢印が表示されます。



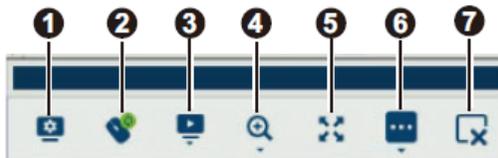
4. カーソルを矢印に移動すると、ツールバーが表示されます。



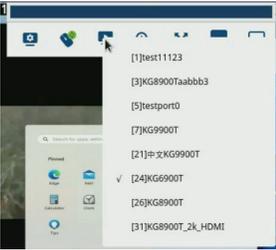
5. アイコンをクリックしてツールバーの機能にアクセスします。ツールバーの詳細については、以下の「ツールバー」を参照してください。

ツールバー

ツールバーにおける各操作項目の機能の詳細については、下表を参照してください。



番号	制御	説明
1	 ビデオ設定	次の設定が行えます。 <ul style="list-style-type: none">◆ ビデオ品質: スライダーバーを動かしてビデオ品質を調整します。◆ 拡張テキストモード: この設定を有効にすると、テキスト表示を強調して視認性を向上させます。◆ グレースケール表示: この設定を有効にすると、色を使う代わりにグレーの濃淡のみでコンテンツを表示します。

番号	制御	説明
2	 マウス同期モード	<p>ローカルとリモートのマウスポインターの同期方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自動: リモートとローカルのマウスポインターを自動的に同期します(デフォルト設定)。 ◆ Mac 2用: リモートサーバーにMacを使用していて自動同期が不十分な場合は、このオプションを選択します。 ◆ Red Hat AS 3.0用: リモートサーバーがRed Hat Enterprise Linux ASバージョン3を実行していて、自動同期が不十分な場合は、このオプションを選択します。 ◆ 手動: デフォルトの同期が不十分で、Mac 2用またはRed Hat AS用3.0の設定が対象のサーバーに適用できない場合は、このオプションを選択します。
3	 接続	<p>別の入力に素早く切り替えるためのクイックアクセスが行えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「接続」ボタンをクリックします。 2. ポップアップメニューで、使用可能な入力のリストから目的のソースを選択します。次に例を示します。 <div data-bbox="489 900 765 1150" data-label="Image">  </div> 3. 選択した入力がグリッドに表示されます。
4	 表示サイズ	<p>ボタンをクリックすると、以下の設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ウィンドウサイズの調整: グリッドのサイズを変更します。 ◆ 画面に合わせる: 入力をグリッドに合わせます。 ◆ キャンパスに合わせる: 入力をプレビュー領域に合わせます。

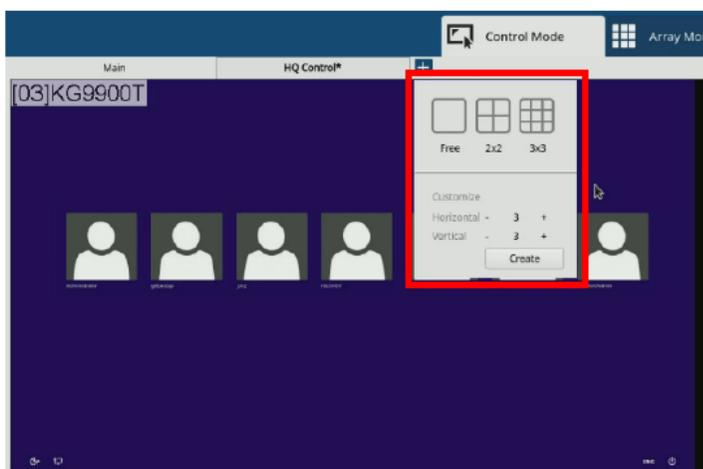
番号	制御	説明
5	 フルスクリーンに拡大	入力を画面に合わせます。もう一度クリックすると、通常のグリッド表示に戻ります。
6	 設定	<p>ボタンをクリックすると、以下の設定にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ GUIを開く: リモート設定・管理用にサーバーまたはPCのウェブGUIを開きます。 ◆ スピーカー: オーディオ入力をミュートまたはミュート解除します。 ◆ NumLock: NumLockを有効にします。 ◆ CapsLock: CapsLockを有効にします。 ◆ ScrLock: ScrollLockを有効にします。 ◆ 切断: 入力を切断します。
7	 入力の削除	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 制御モードの場合: クリックすると、入力をグリッドから削除します。 ◆ アレイ監視の場合: クリックすると、フルスクリーンを閉じ、アレイ監視パネルに戻ります。

レイアウト設定

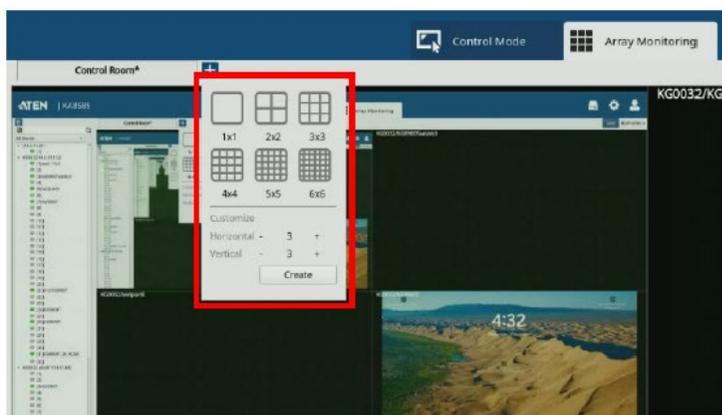
新規レイアウトの追加

1. 作成するレイアウトに応じて、「制御モード」タブまたは「アレイ監視」タブを開きます。
2. **+** をクリックして、メニューを表示します。

◆ 制御モードのレイアウトオプション



◆ アレイ監視のレイアウトオプション

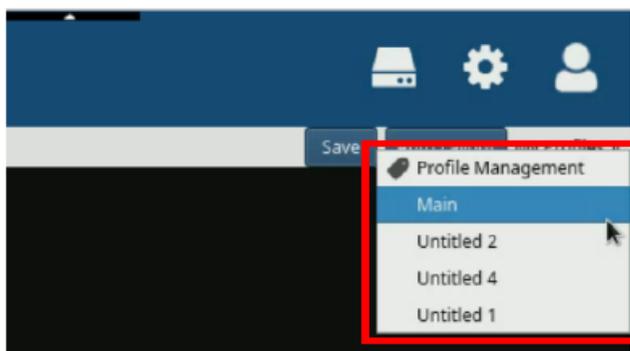


3. ポップアップメニューで、レイアウトグリッドを選択するか、「カスタマイズ」セクションで設定を行って、「作成」をクリックします。このとき、選択または設定したグリッドがプレビュー領域に追加されます。
4. 「作成」をクリックすると、レイアウトが別のタブに表示されます。
5. ディスプレイに入力を割り当てるには、ポートリストからグリッドにソースをドラッグ&ドロップします。
6. 「保存」をクリックし、ポップアップダイアログボックスでプロファイルに名前を付けます。



作成済みのレイアウトを開く

1. KA8585のメイン画面で、「制御モード」タブまたは「アレイ監視」タブをクリックします。
2. 「マイプロファイル」をクリックすると、作成済みのレイアウトのリストが表示されます。

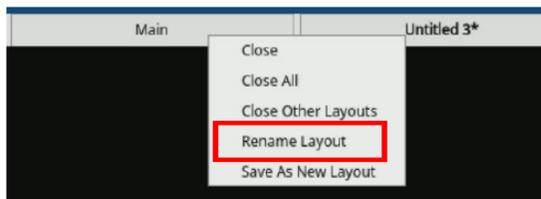


3. レイアウトをクリックして、プレビュー領域で開きます。

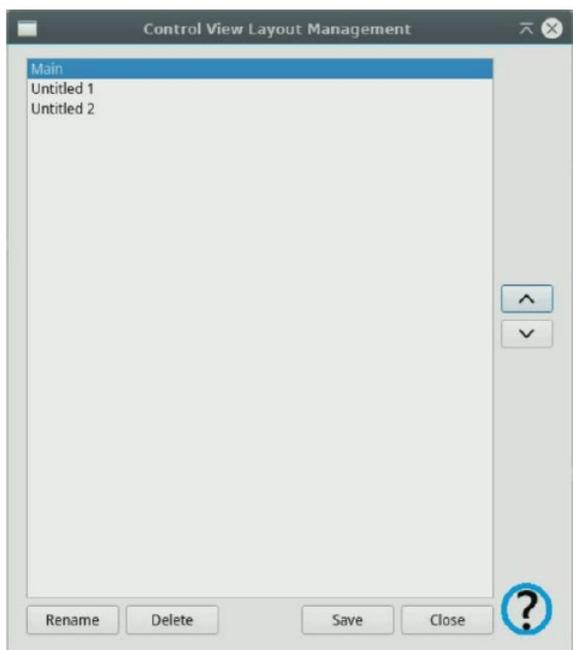
レイアウト名の変更

次のいずれかの方法を使用してレイアウト名を変更します。

- ◆ 「レイアウト」タブを右クリックし、ポップアップメニューから「レイアウト名の変更」を選択します。



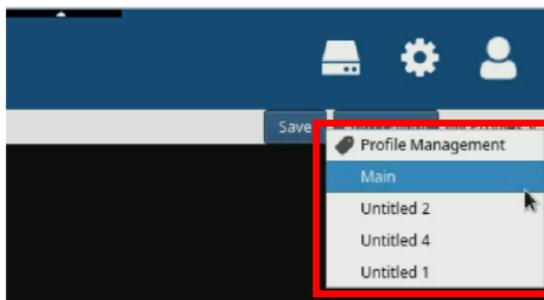
- ◆ メイン画面で「マイプロフィール」をクリックし、「プロフィール管理」を選択します。続いて、プロフィールを選択し「名前の変更」をクリックします。



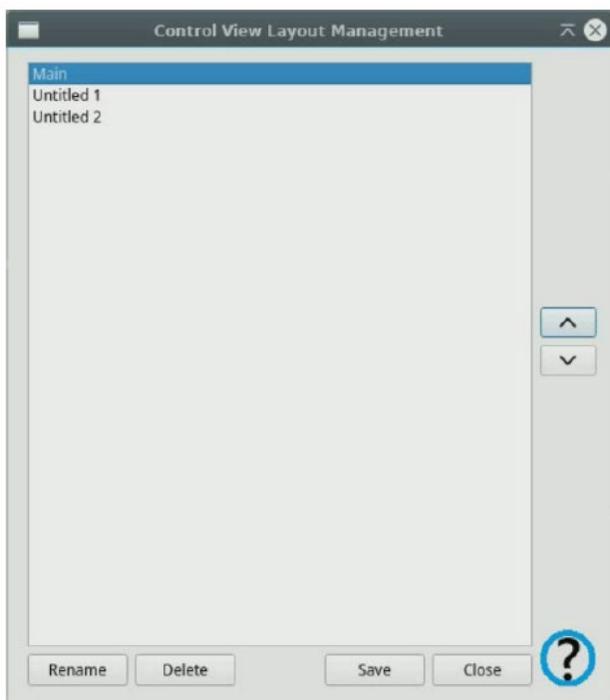
一覧に表示されたレイアウトの順序を調整するには、リストの行をクリックしてレイアウトを選択してから、矢印ボタン( )をクリックしてリスト内で上下に移動します。

レイアウトの削除

1. KA8585のメイン画面で、「制御モード」タブまたは「アレイ監視」タブをクリックします。
2. 「マイプロフィール」をクリックすると、下図のようなメニューが表示されます。



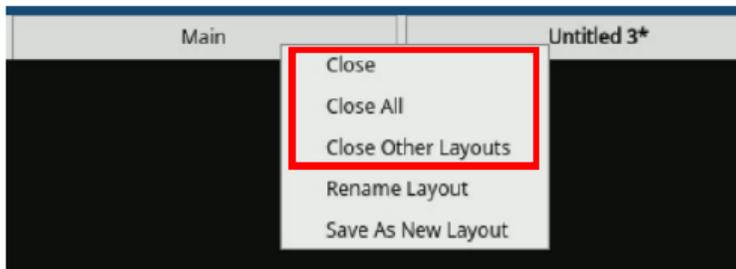
3. 「プロフィール管理」を選択すると、下図のようなウィンドウが表示されます。



4. レイアウトを選択したら、「削除」をクリックしてレイアウトを削除します。

レイアウトを閉じる

1つまたは複数のレイアウトを閉じるには、レイアウトツールバーを右クリックし、必要に応じて以下のいずれかを選択します。



オプション	説明
終了	選択したレイアウトを閉じます。
すべて閉じる	開いているレイアウトをすべて閉じます。
他のレイアウトを閉じる	選択したレイアウトのみを開いたままにし、他のすべてのレイアウトを閉じます。

第4章

デバイス管理

概要

この章では、KA8585にリモートサーバーを追加し、デバイスリストを管理する手順について説明します。

デバイスの追加

1. KA8585の管理コンソールで、「デバイス管理」(🖨️)をクリックすると、デバイスリストが表示されます。



The screenshot shows a web interface titled "Device Management" with a back arrow on the left. Below the title are three buttons: "Add", "Edit", and "Delete". A table displays a list of devices with columns for "Device Name", "Devices", and "IP Address".

	Device Name	Devices	IP Address
1		KVM	10.0.91.42
2	KG0032	KVM	10.0.91.112
3	KG0032_ab	KVM	10.0.91.64
4	RCM-CN9600	KVM	10.0.90.203

2. 「追加」ボタンをクリックすると、下図のような画面が表示されます。



The screenshot shows a dialog box titled "Add Device" with a close button in the top right corner. It contains four input fields: "IP Address:" with a search icon, "Port:" with the value "9000", "User Name:", and "Password:". At the bottom right, there are two buttons: "Add" and "Cancel".

3. デバイスの追加画面で、以下を設定します。

- a) 「IPアドレス」欄で  をクリックすると、使用可能なデバイスが表に表示されます。デバイスをダブルクリックすると、このデバイスを追加します。



Device Name	IP Address	IPv6 Address
KG0016	10.0.91.20	
KG0032	10.0.91.112	2009:1:2:3::112
KG0016	10.0.91.80	2008:1:2:3::123
CN9600	10.0.91.22	2008:1:2:3::2025
ATEN CN9950-BX(1	10.0.91.42	fe80::210:74ff:feb0:fffc
CN9000RCMQAtest	10.0.91.115	fe80::210:74ff:feb3:871a
RCM9600	10.0.91.47	fe80::210:74ff:feb0:cd95
RCM-CN9000	10.0.91.6	fe80::e615:f6ff:fe7a:3f89
석역 발	10.0.90.62	fe80::e615:f6ff:fe7a:43b8
RCM-CN9000_90233	10.0.90.233	fe80::6a5e:1cff:fee8:5e78
RCM-CN9600	10.0.90.203	fe80::4206:a0ff:fe30:d50
CN9600	10.0.91.79	fe80::4206:a0ff:fe30:e385

- b) 追加されたデバイスとの通信に使用するポートを指定します。
- c) 選択したデバイスを認証して追加するために、有効な資格情報を入力します。
4. 「追加」ボタンをクリックして、選択したデバイスをデバイスリストに追加します。

デバイス認証情報の更新

管理対象となるデバイスのログイン認証情報が変更された場合は、以下の手順に従ってKA8585のログイン認証情報を更新します。

1. KA8585の管理コンソールで、「**デバイス管理**」()をクリックすると、デバイスリストが表示されます。



The screenshot shows the 'Device Management' interface. At the top, there is a blue header with a back arrow and the title 'Device Management'. Below the header are three buttons: 'Add', 'Edit', and 'Delete'. The main area contains a table with the following data:

	Device Name	Devices	IP Address
1		KVM	10.0.91.42
2	KG0032	KVM	10.0.91.112
3	KG0032_ab	KVM	10.0.91.64
4	RCM-CN9600	KVM	10.0.90.203

2. デバイスリストでデバイスをダブルクリックします。または、デバイスリストでデバイスをクリックして選択し、「**編集**」ボタンをクリックします。このとき、「**デバイスの変更**」ダイアログボックスが表示されます。



The screenshot shows the 'Modify Device' dialog box. It contains the following fields and buttons:

- IP Address: 10.0.90.203
- Port: 9000
- User Name: administrator
- Password: [masked with dots]
- Buttons: Save, Cancel

3. 有効な認証情報を入力します。
4. 「**保存**」をクリックして変更内容を適用します。

デバイスの削除

1. KA8585の管理コンソールで「**デバイス管理**」()をクリックすると、デバイスリストが表示されます。



The screenshot shows the 'Device Management' interface. At the top, there is a blue header with a back arrow and the title 'Device Management'. Below the header are three buttons: 'Add', 'Edit', and 'Delete'. A table below contains the following data:

	Device Name	Devices	IP Address
1		KVM	10.0.91.42
2	KG0032	KVM	10.0.91.112
3	KG0032_ab	KVM	10.0.91.64
4	RCM-CN9600	KVM	10.0.90.203

2. デバイスリストでデバイスを選択します。



The screenshot shows the 'Device Management' interface, similar to the previous one, but with the device 'RCM-CN9600' (row 4) highlighted in blue. The table data is as follows:

	Device Name	Devices	IP Address
1		KVM	10.0.91.42
2	KG0032	KVM	10.0.91.112
3	KG0032_abc中	KVM	10.0.91.64
4	RCM-CN9600	KVM	10.0.90.203

3. 「**削除**」ボタンをクリックすると、確認ダイアログボックスが表示されます。
4. 「**はい**」をクリックして確認し、リストからデバイスを削除します。

第5章

システム設定

概要

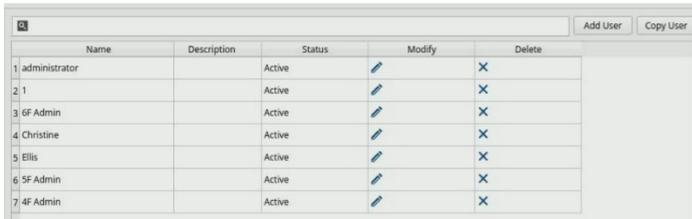
この章では、KA8585の管理コンソールにおけるシステム設定と、これらを用いてKA8585の運用・管理・保守を支援する方法について説明します。

アカウント管理

ユーザーアカウント

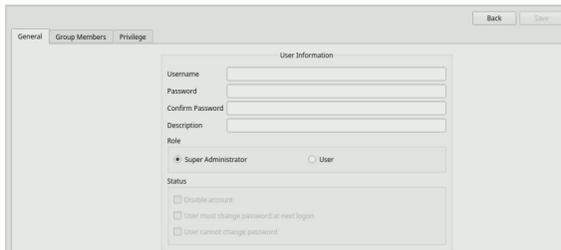
ユーザーアカウントの追加

1. KA8585の管理コンソールで、「ユーザー管理」>「ユーザー」に移動すると、下図のような画面が表示されます。



Name	Description	Status	Modify	Delete
1 administrator		Active		
2 1		Active		
3 6F Admin		Active		
4 Christine		Active		
5 Ellis		Active		
6 5F Admin		Active		
7 4F Admin		Active		

2. 「ユーザーの追加」をクリックすると、下図のような画面が表示されます。



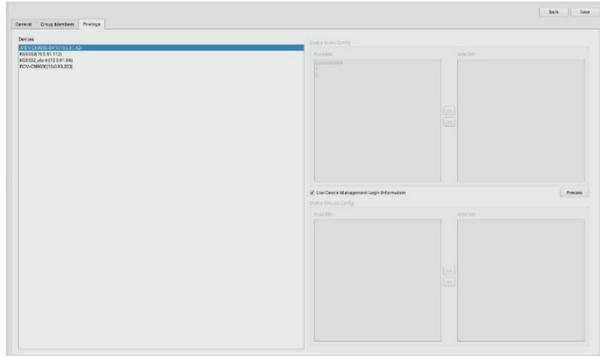
3. 「全般」タブで、以下の設定を行います。

- a) ユーザーネーム、パスワード、および説明(オプション)を入力します。
- b) ロールについては、**スーパーアドミニストレーター**または**ユーザー**を選択します。ユーザーのロールを使用すると、アカウントを無効にしたり、パスワードの使用に制限をかけたりすることができます。
 - ◆ **アカウントを無効にする**: アカウントを作成しますが、当面は無効のままにします。
 - ◆ **ユーザーは次回ログイン時にパスワード変更が必須**
 - ◆ **ユーザーはパスワードの変更不可**
4. (オプション)ユーザーをグループに割り当て、そのグループに既に設定されているアクセス権限を付与するには、アカウントに1つ以上のグループを追加します。
 - a) 「**グループメンバー**」タブをクリックします。
 - b) グループを追加するには、グループをダブルクリックして「**選択**」列に移動します。選択したグループを削除するには、ダブルクリックして「**使用可能**」列に戻します。または、矢印ボタンを使用して、「**選択**」列の項目を追加または削除します。
5. (オプション)アクセス権限を追加する場合は、「**操作権限**」タブで権限を設定します。

注意:

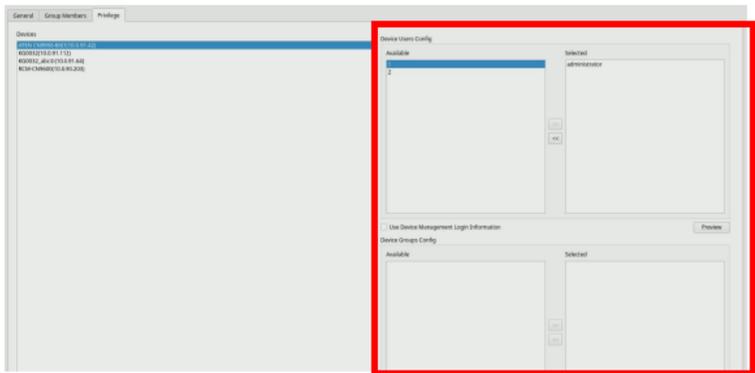
このユーザーが追加済みの入力を表示できるよう、必ずアクセス権限を付与してください。アクセス権限を設定しない場合、ユーザーは「**デバイス管理**」画面(p.25参照)で入力したログイン認証情報を使ったりリモートデバイスへのログインしか行えません。

- a) 「**操作権限**」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



「デバイス」列には、KA8585に追加済みのリモートデバイスがすべて表示されます。「デバイスユーザー設定」と「デバイスグループ設定」のセクションには、選択したリモートデバイスで作成済みのユーザーアカウントとグループアカウントが表示されます。

- b) 設定を許可するには、「**デバイス管理のログイン情報を使用する**」のチェックを外します。
- c) 「**デバイスユーザー設定**」列では追加するユーザーアカウントを、「**デバイスグループ設定**」列では追加するグループアカウントを、それぞれダブルクリックして選択します。



- d) 「**プレビュー**」をクリックして機器構成を確認すると、アクセス権限の概要が表示されます。

Preview			
Name	Access	USB	Config
<ul style="list-style-type: none"> ▼ ATEN CN9950-BX(1) [01] [17] COM1 	Full access	Full access	Permitted
	Full access	Full access	Permitted
	Full access	Full access	Permitted

- e) 設定を保存するには、「**デバイス管理のログイン情報を使用する**」を有効にします。
6. 「**保存**」をクリックします。

ユーザーアカウントの変更

ユーザーリストでユーザーをクリックして選択したら、 をクリックして設定を変更します。設定の詳細については、p.29「ユーザーアカウントの追加」を参照してください。

ユーザーアカウントの複製

ユーザーリストでユーザーをクリックして選択したら、「**ユーザーのコピー**」をクリックします。これによって、選択したユーザーのすべての設定が複製され、そのユーザーの「全般」タブが表示されます。必要に応じて、ユーザーネーム、パスワード、その他の設定を変更します。設定の詳細については、p.29「ユーザーアカウントの追加」を参照してください。

ユーザーアカウントの削除

ユーザーリストでユーザーをクリックして選択したら、 をクリックしてユーザーを削除します。

グループアカウント

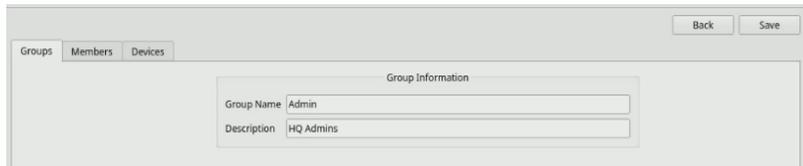
グループアカウントの追加

1. KA8585の管理コンソールで、「ユーザー管理」>「グループ」に移動すると、下図のような画面が表示されます。



	Name	Description	Status	Modify	Delete
1	g1				
2	group01				

2. 「グループの追加」をクリックすると、下図のような画面が表示されます。



Groups Members Devices

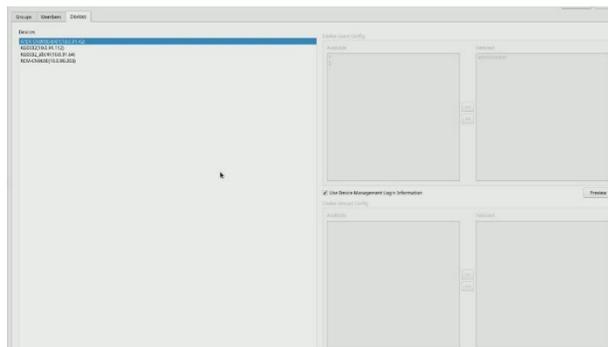
Group Information

Group Name: Admin

Description: HQ Admins

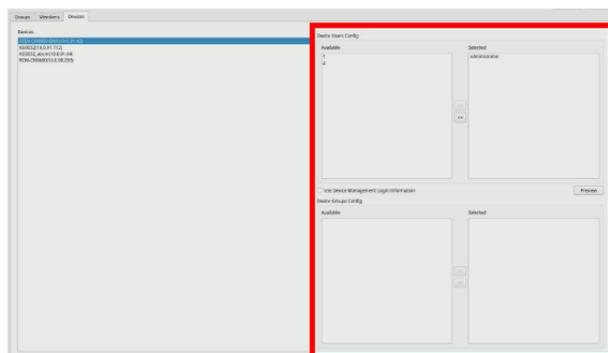
Back Save

3. グループの設定を行います。
 - ◆ **名前:**グループの名前を入力します。
 - ◆ **説明:**(オプション)グループを区別するための説明を追加します。
4. 「メンバー」タブで、1人以上のユーザーをグループに追加します。
 - a) 「グループメンバー」タブをクリックします。
 - b) グループを追加するには、グループをダブルクリックして「選択」列に移動します。選択済みのグループを削除するには、ダブルクリックして「使用可能」列に戻します。または、矢印ボタンを使用して、「選択」列の項目を追加または削除します。
5. 「デバイス」タブで、グループのアクセス権限を設定します。
 - a) 「デバイス」タブをクリックすると、下図のような画面が表示されます。

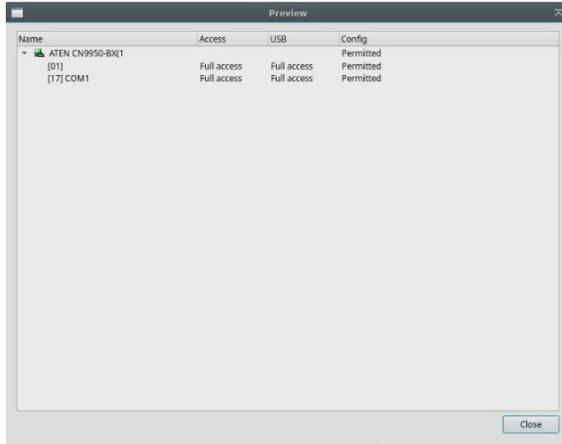


「デバイス」列には、KA8585に追加済みのリモートデバイスがすべて表示されます。「デバイスユーザー設定」と「デバイスグループ設定」セクションには、選択したリモートデバイスで作成済みのユーザーアカウントとグループアカウントが表示されます。

- b) 設定を許可するには、「**デバイス管理のログイン情報を使用する**」のチェックを外します。
- c) 「**デバイスユーザー設定**」列では追加するユーザーアカウントを、「**デバイスグループ設定**」列では追加するグループアカウントを、それぞれダブルクリックして選択します。



- d) 「**プレビュー**」をクリックして機器構成を確認すると、アクセス権限の概要が表示されます。



- e) 設定を保存するには、「**デバイス管理のログイン情報を使用する**」を有効にします。
6. 「**保存**」をクリックして設定内容を適用します。

アカウントポリシー

アカウントポリシー設定を使用して、ユーザーネームやパスワードの複雑さと、パスワード履歴の設定を行います。これらの設定にアクセスするには、「ユーザー管理」>「アカウントポリシー」に移動します。

Account Policy

Minimum Username Length: 1

Minimum Password Length: 0

Password Must Contain At Least One Upper Case
 One Lower Case
 One Number

Enforce Password History 3

Save

- ◆ **ユーザーネームの最小文字数:**アカウントのユーザーネームに許可される最小文字数を入力します。
- ◆ **パスワードの最小文字数:**アカウントのパスワードに許可される最小文字数を入力します。
- ◆ **パスワードには以下が必須:**クリックして、アカウントのパスワードに対する要件（1文字以上の大文字、1文字以上の小文字、または1文字以上の数字）を有効または無効にします。
- ◆ **パスワード履歴の強制:**この設定を有効にすると、KA8585が過去に使用したパスワードを記憶し、再利用を禁止します。システムが記憶するパスワード履歴の件数を入力します。

システム管理

システム設定全般の確認

デバイス名、ファームウェアバージョン、IPアドレス、その他のネットワーク設定など、KA8585の一般的なシステム設定を確認するには、次の手順に従って操作します。

1. KA8585の管理コンソールで、 をクリックします。
2. 「システム管理」>「システム情報」に移動すると、設定の一覧が表示されます。

Device Name	KA8585
MAC Address 1	00-30-18-14-9C-5E
MAC Address 2	00-30-18-14-9C-5F
Firmware Version	V1.0.062 Build20251205
IP Address 1	10.0.91.77
Subnet Mask 1	255.255.252.0
Gateway 1	10.0.90.254
Preferred DNS server 1	10.0.1.6
Alternate DNS server 1	10.0.1.7
IPv6 Address 1	::
IPv6 Subnet Prefix Length 1	0
IP Address 2	192.168.0.61
Subnet Mask 2	255.255.255.0
Gateway 2	192.168.0.1
IPv6 Address 2	::
IPv6 Subnet Prefix Length 2	0

ネットワーク設定

KA8585のネットワーク設定を行うには、管理コンソールでをクリックし、「システム管理」>「ネットワーク」に移動します。



◆ IPインストーラー

IPインストーラーは、KA8585にIPアドレスを割り当てるために使用できる外部のWindowsアプリです。

- ◆ **有効、参照のみ、無効**:KA8585のIPアドレスに対する操作権限を設定します。用途に応じて、**有効**(表示・変更が可能)、**参照のみ**(表示のみ可能)、**無効**(表示・変更ともに不可)のいずれかを選択してください。
- ◆ **冗長NIC**:KA8585には2つのネットワークインターフェースが搭載されています。この項目を有効(デフォルト)にすると、ネットワークアダプター1に設定された1つのIPアドレスを使用したアクティブ-スタンバイ構成になります。

す。プライマリー側に障害が発生した場合は、セカンダリー側に自動的に切り替わります。

◆ IPv4設定

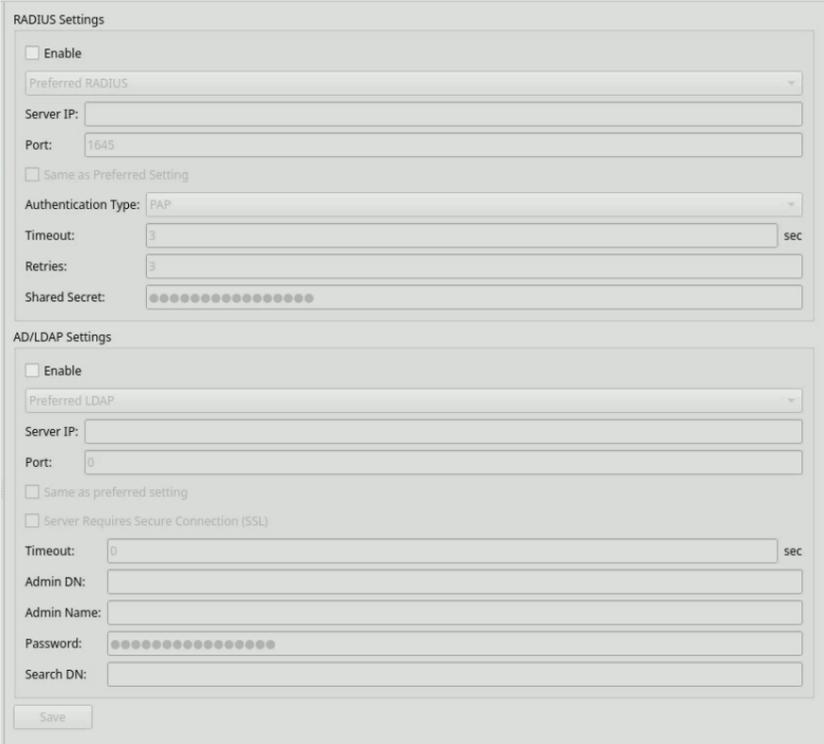
- ◆ **IPアドレスを自動的に取得する[DHCP]**: 動的IPアドレスを使用するには、このオプションを選択します。
- ◆ **IPアドレスを手動で設定する[固定IP]**: 固定IPアドレスを使用するには、このオプションを選択します。設定を有効にしたら、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力してください。
- ◆ **DNSサーバー**: DNSサーバーのアドレスを設定します。
 - ◆ **DNSサーバーアドレスを自動的に取得する**: 動的DNSサーバーアドレスを使用するには、このオプションを選択します。
 - ◆ **DNSサーバーアドレスを手動で設定する**: 固定DNSサーバーアドレスを設定するには、このオプションを選択します。このオプションを選択した場合は、優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのアドレス欄も設定してください。

◆ IPv6設定

- ◆ **IPv6アドレスを自動的に取得する[DHCP]**: 動的IPアドレスを使用するには、このオプションを選択してください。
- ◆ **IPv6アドレスを手動で設定する[固定IP]**: 固定IPアドレスを使用するには、このオプションを選択してください。設定を有効にした後、IPv6アドレス、IPv6サブネットプレフィックス長、ゲートウェイを入力してください。
- ◆ **DNSサーバー**: DNSサーバーのアドレスを設定します。
 - ◆ **DNSサーバーアドレスを自動的に取得する**: 動的DNSサーバーアドレスを使用するには、このオプションを選択します。
 - ◆ **DNSサーバーアドレスを手動で設定する**: 固定DNSサーバーアドレスを設定するには、このオプションを選択します。優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのアドレス欄も設定してください。

ANMS

ANMS 画面には、アカウント認証に関連する設定 (RADIUS サーバーおよび AD/LDAP) が含まれています。この画面にアクセスするには、KA8585 の管理コンソールで  をクリックし、「システム管理」>「ANMS」に移動します。



The screenshot displays the configuration interface for RADIUS and AD/LDAP settings. It is divided into two main sections: RADIUS Settings and AD/LDAP Settings. Both sections have an 'Enable' checkbox. The RADIUS section includes fields for Preferred RADIUS, Server IP, Port (1645), Authentication Type (PAP), Timeout (3 sec), Retries (3), and Shared Secret. The AD/LDAP section includes fields for Preferred LDAP, Server IP, Port (0), Timeout (0 sec), Admin DN, Admin Name, Password, and Search DN. A 'Save' button is located at the bottom left of the AD/LDAP section.

◆ RADIUS

RADIUSサーバー経由でKA8585のログインを認証するには、RADIUSを有効にします。

- ◆ **有効:**「有効」を選択したら、優先RADIUSまたは代替RADIUSのいずれかをドロップダウンリストから選択します。
- ◆ **サーバーIP&ポート:** 優先RADIUSサーバーのIPアドレスとサービスポート番号を入力します。IPの各欄は、IPv4アドレス、IPv6アドレス、ドメイン名のいずれかで設定できます。

- ◆ **優先設定と同じ:** 優先RADIUSの認証タイプ、タイムアウト、再試行、共有シークレット設定を代替RADIUSに適用するには、このオプションを選択します。
- ◆ **認証タイプ:** セキュリティー要件、システム機能、互換性の制約に応じて認証方式を選択します。可能であれば、セキュリティ向上のためにCHAPを選択します。
- ◆ **タイムアウト:** KA8585がRADIUSサーバーの応答を待機してからタイムアウトになるまでの時間を設定します。
- ◆ **再試行:** RADIUSサーバーからの再試行を許容する回数を設定します。
- ◆ **共有シークレット:** KA8585とRADIUSサーバー間の認証に使用する文字列を入力します。文字列が以下の要件を満たしていることを確認してください。
 - ◆ 6文字以上
 - ◆ 記号を使用する場合は、以下の特殊文字のみを使用すること
 ., { } : | ~ ! @ # % & _ = > < * + ? \$ - () [] / ^ .

◆ AD/LDAP

Active Directory (AD) または LDAP 経由で KA8585 のログインを認証するには、AD/LDAP を有効にします。

- ◆ **有効:** 「有効」を選択したら、**優先LDAP** または **代替LDAP** のいずれかをドロップダウンリストから選択します。
- ◆ **サーバーIP & ポート:** 選択したサーバーのIPアドレスとサービスポート番号を入力します。IPの各欄は、IPv4アドレス、IPv6アドレス、ドメイン名のいずれかで設定できます。
- ◆ **優先設定と同じ:** 優先LDAPの認証タイプ、タイムアウト、再試行、共有シークレット設定を代替LDAPに適用するには、このオプションを選択します。
- ◆ **サーバーはセキュアな接続(SSL)が必要:** SSL通信を有効にするには、この設定を選択します。
- ◆ **Admin DN:** 管理者区別名 (AD) を完全な形式で入力します。つまり、管理目的または検索目的でディレクトリーにログインするためにコンソールサーバーで使用されるアカウント名です。このアカウントには、ユーザーとグループを検索する権限が必要です。
- ◆ **管理者名:** ディレクトリーにログインするために使用する簡略化されたアカウント名を入力します。

- ◆ **パスワード:**「Admin DN」に入力したアカウントのパスワードを入力します。
- ◆ **サーチDN:**KA8585がユーザーとグループを検索するディレクトリーツリー内の場所を定義します。

セキュリティ

「セキュリティ」画面を使用して、許可されるログイン回数とICMPを設定します。この画面にアクセスするには、KA8585の管理コンソールで  をクリックし、「システム管理」>「セキュリティ」に移動します。



The screenshot shows a configuration interface for security settings. It is divided into two main sections: 'Login Failures' and 'Working Mode'. In the 'Login Failures' section, there is a checkbox for 'Enable' which is checked, a text input field for 'Allowed' with the value '5', and another text input field for 'Timeout' with the value '3'. The 'Working Mode' section also has a checked 'Enable ICMP' checkbox and a dropdown menu for 'Console Keyboard Language' currently set to 'English US'. At the bottom left of the form is a 'Save' button.

◆ ログイン失敗

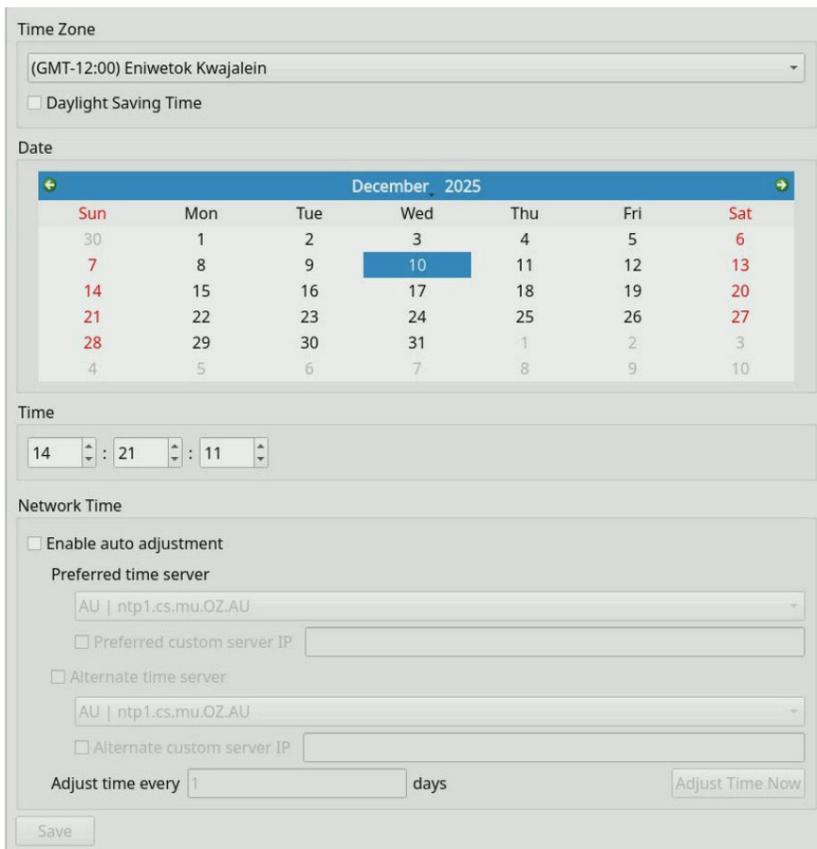
- ◆ **許容回数:**ログイン再試行の許容回数を入力します。
- ◆ **タイムアウト:**タイムアウトまでの非アクティブ時間を分単位で入力します。

◆ 動作モード

- ◆ **ICMPを有効にする:**KA8585と接続デバイス間で制御メッセージやエラーメッセージを送信するには、ICMPを有効にします。
- ◆ **コンソールキーボード言語:**コンソールキーボードのインターフェース言語をドロップダウンメニューから選択します。

日時設定

「日時設定」画面ではシステム時刻を設定します。この画面にアクセスするには、KA8585の管理コンソールで  をクリックし、「システム管理」>「日時設定」に移動します。



Time Zone

(GMT-12:00) Eniwetok Kwajalein

Daylight Saving Time

Date

December 2025						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

Time

14 : 21 : 11

Network Time

Enable auto adjustment

Preferred time server

AU | ntp1.cs.mu.OZ.AU

Preferred custom server IP

Alternate time server

AU | ntp1.cs.mu.OZ.AU

Alternate custom server IP

Adjust time every 1 days Adjust Time Now

Save

- ◆ **タイムゾーン**: タイムゾーンをドロップダウンメニューから選択します。
- ◆ **サマータイム**: この設定を有効にすると、KA8585は選択したタイムゾーンにおけるサマータイムのルールに従ってシステム時刻を調整します。
- ◆ **時刻**: システム時刻を手入力で設定します。
- ◆ **ネットワーク時刻**: この機能を有効にすると、KA8585は指定されたタイムサーバーと指定された間隔で時刻を自動調整します。

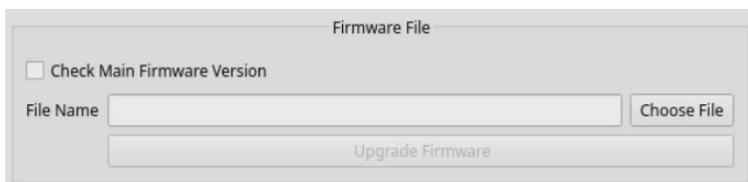
- ◆ ドロップダウンメニューからサーバーを選択したら、必要に応じてサーバーのIPアドレスを指定して、優先ネットワークタイムサーバーを設定します。
- ◆ 必要に応じて、「代替タイムサーバー」を選択したら、ドロップダウンメニューからサーバーを選択し、サーバーのIPアドレスを指定して、代替タイムサーバーを設定します。
- ◆ **時刻調整間隔**:KA8585が、指定されたネットワークタイムサーバーと同期する日数を入力します。
- ◆ **今すぐ時刻を調整**:このボタンをクリックすると、KA8585は指定されたネットワークタイムサーバーとすぐに同期します。

メンテナンス

システムファームウェアのアップグレード

KA8585をアップグレードするには、次の手順に従って操作します。

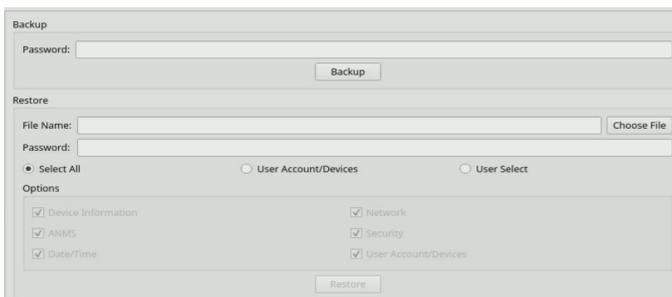
1. 製品ページからファームウェアファイルをダウンロードします。
2. 管理コンソールで  をクリックし、「メンテナンス」>「メインファームウェアのアップグレード」に移動すると、下図のような画面が表示されます。



3. (オプション)「メインファームウェアのバージョンを確認する」を有効にすると、新たに適用しようとしているファームウェアが現在のバージョンより古い場合に、システムが注意メッセージを表示します。
4. 「ファイルの選択」をクリックして、ファームウェアファイルを参照します。
5. 「ファームウェアのアップグレード」をクリックして、アップグレードを開始します。

設定のバックアップ

1. 管理コンソールで  をクリックし、「メンテナンス」>「バックアップ/リストア」に移動すると、下図のような画面が表示されます。

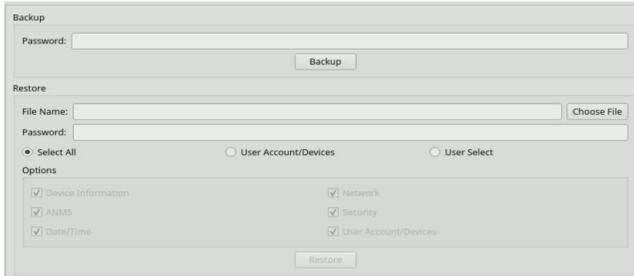


2. アカウントのパスワードを入力し、「バックアップ」をクリックします。

3. ポップアップウィンドウで保存場所を指定して「**保存**」をクリックすると、cfgファイルが保存されます。

バックアップからのシステム構成の復元

1. 管理コンソールで  をクリックし、「メンテナンス」>「バックアップ/リストア」に進むと、下図のような画面が表示されます。



2. 「リストア」セクションで「**ファイルを選択**」をクリックして、保存済みの設定ファイル(.cfg)を参照します。
3. アカウントのパスワードを入力します。
4. (オプション)設定ファイルに復元するデータを選択します。
 - ◆ **すべて選択**: ネットワーク設定を含むすべてのシステム設定を復元します。
 - ◆ **ユーザーアカウント/デバイス**: アカウントとデバイス設定のみを復元します。
 - ◆ **ユーザー選択**: カスタマイズするには、このオプションを選択します。
5. 「リストア」をクリックして処理を開始します。

ターミナル

KA8585は、コマンドラインインターフェース(CLI)をサポートしています。CLIからは、接続テスト、トラブルシューティング、システム音量の設定、プロンプト文字列の設定が行えます。ターミナル画面にアクセスするには、管理コンソールで  をクリックし、「メンテナンス」>「ターミナル」の順に選択します。使用可能なコマンドを表示するには、`help` と入力して[Enter]を押します。

サポートされるコマンド

コマンド	機能と構文
ヒント: コマンドの使用法を表示するには、ターミナル画面でコマンドを入力して[Enter]を押します。例: <code>setprompt</code> [Enter]	
<code>help</code>	<ul style="list-style-type: none">◆ 機能:サポートされるコマンドとその機能を表示します。◆ 構文: <code>help</code> [Enter]
<code>ping</code>	<ul style="list-style-type: none">◆ 機能:KA8585に接続されたデバイスに対して、<code>ping</code> を連続送信します。<code>[Ctrl] + [C]</code>を押すと停止します。◆ 構文: <code>ping -t</code> [Enter] <code>t:</code>対象機器のIPアドレス◆ 例: IPアドレスが10.0.91.42に設定された接続デバイスにpingを送信するには、次のコマンドを入力します。 <code>ping -10.0.91.42</code> [Enter]
<code>clear</code>	<ul style="list-style-type: none">◆ 機能:ターミナル画面を消去します。◆ 構文: <code>clear</code> [Enter]
<code>selfdiagnostic</code>	<ul style="list-style-type: none">◆ 機能:システム情報全般、ネットワーク状況、ネットワーク統計(tx/rx/パケット、tx/rx/バイトなど)を表示します。◆ 構文: <code>selfdiagnostic</code> [Enter]

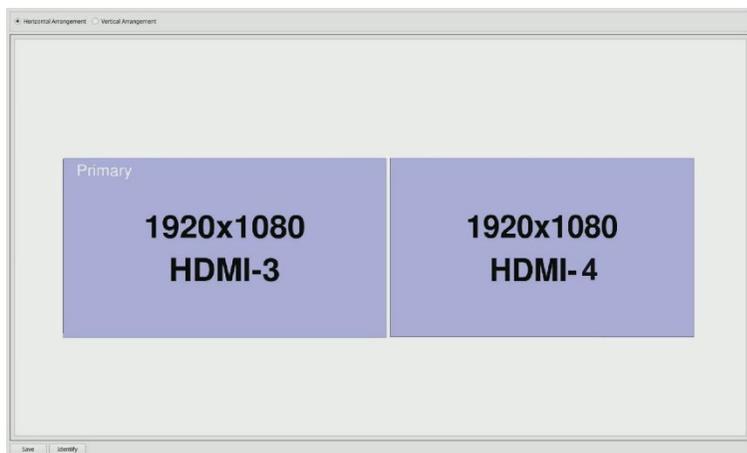
コマンド	機能と構文
setprompt	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 機能:プロンプトテキストを設定します。 ◆ 構文: <pre>setprompt [text] [Enter]</pre> <p>text:プロンプトテキストまたは記号を入力します。角かっこは入力しません。</p> ◆ 例: プロンプトテキスト/記号を「#」に設定するには、次のコマンドを入力します。 <pre>setprompt # [Enter]</pre>
setvol	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 機能:KA8585に接続されたスピーカ-の音量を設定します。100%が最大音量、0%がミュートです。 ◆ 構文: <pre>setvol [volume] [Enter]</pre> <p>volume:音量の数値を入力します。有効な範囲は0~100%です。</p> ◆ 例: 音量を15%に設定するには、次のコマンドを入力します。 <pre>setvol 15 [Enter]</pre>

モニターの配置設定

設置したモニターは縦または横に配置できます。下図は、KA8585に2台のHDMIモニターが横に配置されていることを示しています。

接続したディスプレイの配置は、次の手順で設定します。

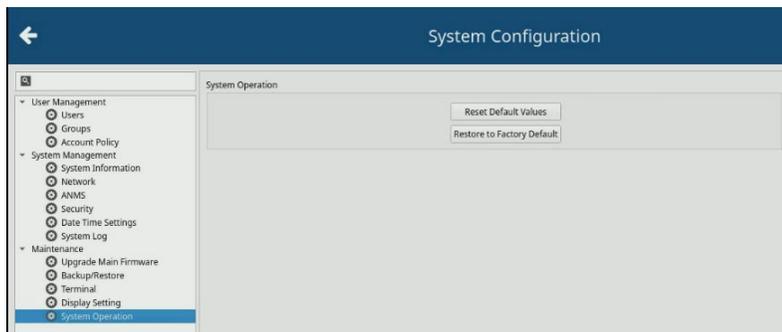
1. 管理コンソールで  をクリックし、「メンテナンス」>「画面表示設定」に進むと、下図のような画面が表示されます。



2. ディスプレイの物理的な設置方法を、「水平配置」または「垂直配置」から選択します。
3. KA8585は、配置の左側または上側にあるモニターをプライマリーモニターとして認識します。プライマリーモニターを変更するには、対象のモニターを配置の左側または上側にドラッグアンドドロップします。このとき、プライマリーモニターには、「Primary」と表示されます。
4. モニターが接続されているインターフェースとポートを確認するには、「識別」をクリックします。このとき、接続されたモニターの左下隅にインターフェースとポート番号が表示されます。例えば、「HDMI-3」と表示された場合は、モニターがポート3のHDMIポートに接続されていることを示します。

デフォルト設定へのリセット

1. 管理コンソールで  をクリックし、「メンテナンス」>「システム操作」に進むと、下図のような画面が表示されます。



2. 必要に応じて、以下の操作を行います。
 - ◆ システム設定をデフォルトにリセットし、現在のネットワーク設定を保持する場合は、「**デフォルト値にリセット**」をクリックします。
 - ◆ システム、ネットワーク、アカウント設定をデフォルトにリセットするには、「**工場出荷時のデフォルトに復元**」をクリックします。このとき、パスワードの入力を求められます。その後、リセットを開始するには、**リセットボタン**(KA8585本体のフロントパネルに位置)を1回押します。

システムメンテナンス

パスワードの変更

パスワードを変更するには、メイン画面で  をクリックし、「パスワードの変更」をクリックします。その後、画面の指示に従って、現在のパスワードと新しいパスワードを入力して変更を適用します。

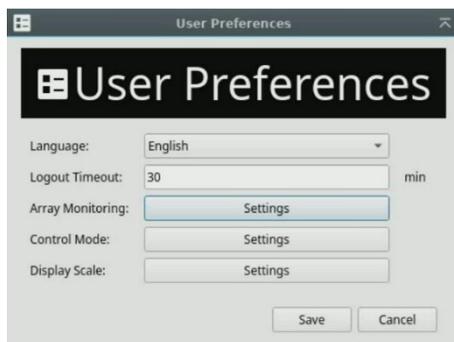
KA8585の再起動

メイン画面で  をクリックし、「再起動」をクリックします。確認メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。KA8585はすぐに再起動を開始します。

ユーザー環境設定

このメニューでは、KA8585の以下の設定をカスタマイズできます。

- ◆ 管理コンソールの言語
- ◆ 自動ログアウト時間
- ◆ アレイ監視設定
- ◆ 制御モード設定
- ◆ 表示スケール



インターフェース言語

インターフェース言語を変更するには、次の手順に従って操作します。

1. メイン画面で  をクリックし、「**ユーザー環境設定**」をクリックすると、ユーザー環境設定ウィンドウが表示されます。
2. 「言語」ドロップダウンメニューから、使用する言語を選択します。
3. 「**保存**」をクリックして、変更内容を適用します。

自動ログアウト

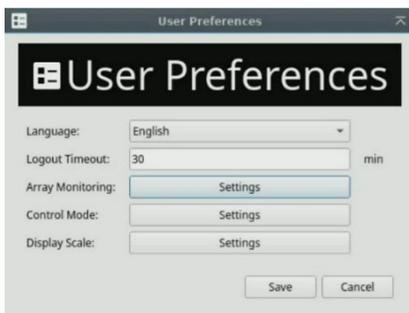
KA8585は、ユーザーが操作していない状態が一定の期間続くと、このユーザーを自動的にログアウトします。タイムアウト設定の時間を変更するには、次の手順に従って操作します。

1. メイン画面で  をクリックし、「**ユーザー環境設定**」をクリックすると、ユーザー環境を設定するウィンドウが表示されます。
2. 「ログアウトタイムアウト」ドロップダウンメニューから、時間を選択します。
3. 「**保存**」をクリックして変更内容を適用します。

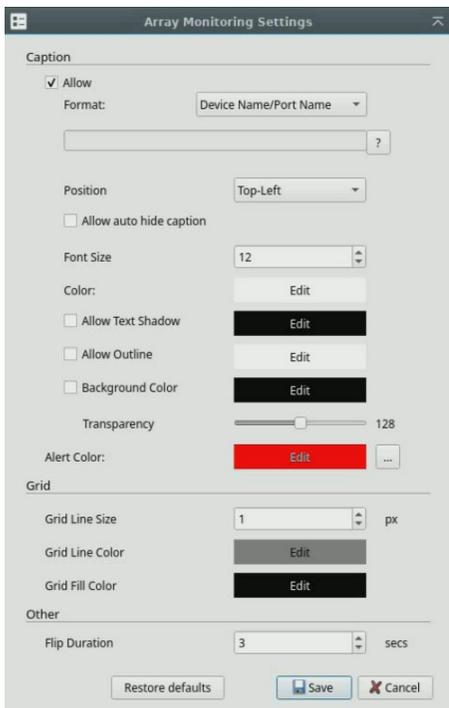
アレイ監視設定

アレイ監視環境設定を変更するには、次の手順に従って操作します。

1. メイン画面で  をクリックし、「ユーザー環境設定」をクリックすると、下図のような画面が表示されます。



2. 「アレイ監視」項目の「設定」をクリックすると、下図のようなウィンドウが表示されます。



3. 必要に応じて設定を行います。

キャプション:この設定グループを使用して、各アレイ監視グリッドのキャプションを設定します。「許可」をクリックすると、キャプションを設定します。

- ◆ **形式:**キャプションの表示形式を指定します。「ポート名、デバイス名/ポート名」または「カスタム」(下のフィールドに形式を入力)から選択します。
- ◆ **位置:**グリッド上のキャプションの表示位置を指定します。
- ◆ **キャプションの自動非表示を許可:**この設定を有効にすると、コンソールのマウスがグリッド外にある場合に、各グリッドのデバイス名とポート名を自動で非表示にします。



- ◆ **フォントサイズ:**フォントサイズを指定します。
- ◆ **色:**「編集」をクリックしてカラーパレットウィンドウを開き、キャプションの色を設定します。
- ◆ **テキストシャドウを許可:**この設定を有効にすると、キャプションに影を追加します。「編集」をクリックすると、影の色を変更できます。
- ◆ **アウトラインを許可:**この設定を有効にすると、キャプションにアウトラインを追加します。「編集」をクリックすると、アウトラインの色を変更できます。
- ◆ **背景色:**この設定を有効にすると、キャプションの背景色を設定します。「編集」をクリックすると、アウトラインの色を変更できます。また、**透明度**スライダーバーで透明度を調整できます。
- ◆ **アラート色:**アラートメッセージの色、フォントサイズ、背景色(透明度を含

む)を設定します。「編集」をクリックして背景色を設定します。楕円ボタンをクリックすると、フォントサイズと背景色(透明度を含む)の設定にアクセスします。

- ◆ **グリッド**:この設定グループを使用して、グリッド線の太さと色、およびグリッドの塗りつぶし色を設定します。
- ◆ **切り替え間隔**:表示情報の更新頻度を指定します。

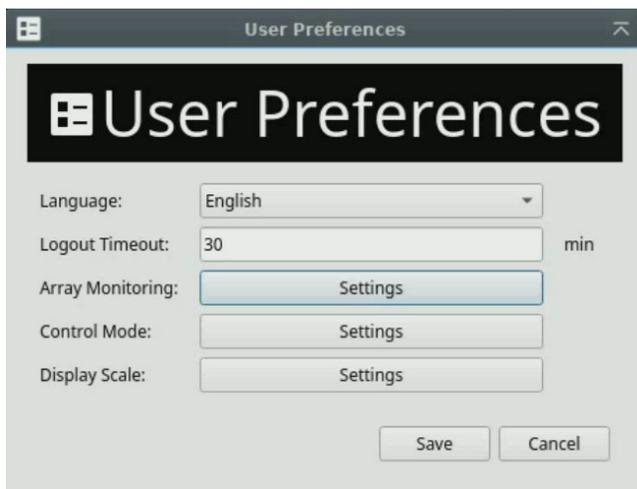
上記の設定をデフォルトに戻すには、「デフォルトに戻す」ボタンをクリックします。

4. 「保存」をクリックして変更内容を適用します。

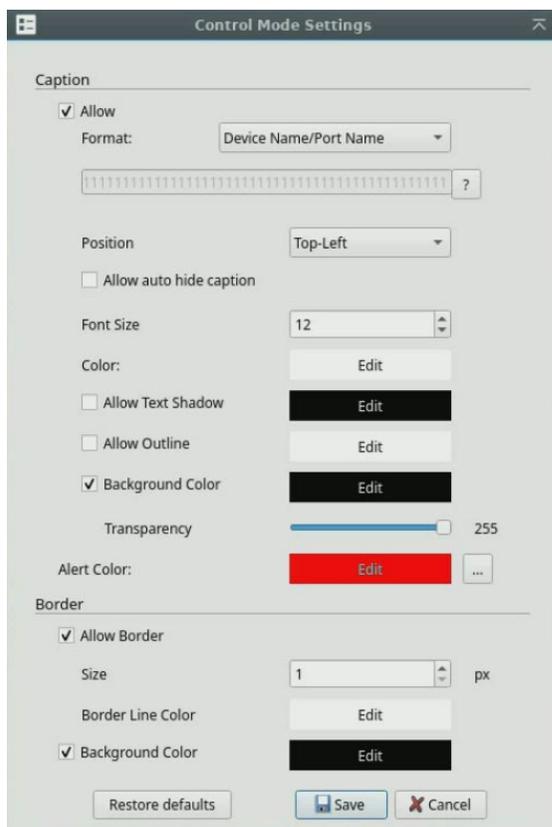
制御モード設定

制御モード環境設定を変更するには、次の手順に従って操作します。

1. メイン画面で  をクリックし、「ユーザー環境設定」をクリックすると、下図のようなウィンドウが表示されます。



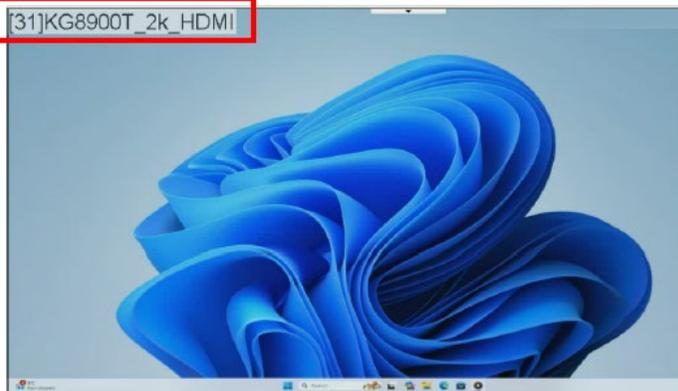
2. 「制御モード」欄で「設定」をクリックすると、このウィンドウが表示されます。



3. 必要に応じて設定を行います。

キャプション:この設定グループを使用して、各制御モードグリッドのキャプションを設定します。「許可」をクリックすると、キャプション設定を行います。

- ◆ **形式:**キャプションの表示形式を指定します。「ポート名、デバイス名/ポート名」または「カスタム」(下のフィールドに形式を入力)から選択します。
- ◆ **位置:**グリッド上のキャプションの表示位置を指定します。
- ◆ **キャプションの自動非表示を許可:**この設定を有効にすると、コンソールのマウスがグリッド外にある場合に、各グリッドのデバイス名とポート名を自動で非表示にします。



[31]KG8900T_2k_HDMI

- ◆ **フォントサイズ**:フォントサイズを指定します。
- ◆ **色**:「**編集**」をクリックしてカラーパレットウィンドウを開き、キャプションの色を設定します。
 - ◆ **テキストシャドウを許可**:この設定を有効にすると、キャプションに影を追加します。「**編集**」をクリックすると、影の色を変更できます。
 - ◆ **アウトラインを許可**:この設定を有効にすると、キャプションにアウトラインを追加します。「**編集**」をクリックすると、アウトラインの色を変更できます。
 - ◆ **背景色**:この設定を有効にすると、キャプションの背景色を設定します。「**編集**」をクリックすると、アウトラインの色を変更できます。また、**透明度**スライダーバーで透明度を調整します。
 - ◆ **アラート色**:アラートメッセージの色、フォントサイズ、背景色(透明度を含む)を設定します。「**編集**」をクリックすると、背景色を設定できます。楕円ボタンをクリックすると、フォントサイズと背景色(透明度を含む)の設定にアクセスします。
- ◆ **ボーダー**:この設定グループを使用すると、グリッド線の太さと色、およびグリッドの背景色を設定します。

上記の設定をデフォルトにリセットするには、「**デフォルトに戻す**」ボタンをクリックします。

4. 「**保存**」をクリックして変更内容を適用します。

安全にお使いいただくために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品パッケージに同梱のすべてのドキュメントに目を通してください。また、ドキュメント類は、後で見返せるようにすべて保存してください。
- ◆ 製品本体に記載されている警告や指示に従ってください。
- ◆ 製品本体を不安定な面(カート、簡易スタンド、テーブルなど)に置かないでください。落下すると深刻な損傷が生じます。
- ◆ 製品を水の近くで使用しないでください。
- ◆ 製品は、冷却装置や加熱機器の近く、またはその上に置かないでください。
- ◆ 排熱機構のないデバイスを、組み込みエンクロージャーに置かないでください。
- ◆ 製品にいかなる種類の液体もこぼさないでください。
- ◆ 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源装置の制限を把握し、これを超えないようにしてください。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件が生じていないか、また、すでに危険な条件がそろっていないか確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。
- ◆ 本体のお手入れの際には、あらかじめプラグを壁のコンセントから抜いてください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ システムへの損傷を避けるために、すべてのデバイスを適切に接地することが重要です。

- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。電源コードやケーブルを踏んだり、これらにつまずいたりしないよう、配線してください。
- ◆ 映像・ネットワーク・電源用のケーブルは、丁寧に取り扱いってください。ケーブルの上には何も置かないでください。
- ◆ ホットプラグ対応パワーサプライの取り付け、または取り外しする場合は、以下の注意事項に従ってください。
 - ◆ 電源ケーブルを接続する前に、パワーサプライのセットアップを行ってください。
 - ◆ パワーサプライを取り外す前に電源ケーブルを抜いてください。
 - ◆ お使いのシステムが複数のパワーサプライをお使いである場合、パワーサプライから全ての電源ケーブルを抜いてお使いのシステムから切り離してください。
- ◆ 本体の端子に物を押し込まないでください。危険な電圧ポイントへの接触や、部品のショート、また、火災や電氣的な衝撃の危険性があります。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。保守については、適格な保守担当者にお問い合わせください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、製品本体のプラグを壁のコンセントから抜いて、技術サポートに修理を依頼してください。
 - ◆ 電源コードが破損したり、擦り切れたりしている。
 - ◆ 本体の上に液体がこぼれた。
 - ◆ 本体が雨や水に濡れた。
 - ◆ 本体が落下した、またはキャビネットが破損している。
 - ◆ 本体の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - ◆ 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、必ず製品マニュアルに従って操作してください。マニュアルに記載されていない方法で調整を行うと、修理資格のある技術者による広範な作業を必要とするおそれがあります。
- ◆ 製品本体を重ねて置く場合、ラックに固定する場合、フレームにネジ止めする場合やその他類似の方法で設置を行う際には、製品本体を確実に固定するための安全装置が追加で必要になることがあります。
- ◆ Cat 5e/6ケーブルは、電気ケーブル、変圧器、照明器具といった電波障害の発生源となりうる物から、できるだけ遠ざけて配線してください。また、これらのケー

ブルは、電線用導管に接続したり、電灯設備の上に置いたりしないようにしてください。

ラックへのマウント

- ◆ ラックでの作業を行う前に、スタビライザーがラックと床に固定されていることと、ラックの重心が安定していることを確認してください。
- ◆ ラックへの機器搭載は、必ず下から上に向かって行ってください。また、最も重いアイテムを下から搭載してください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する電源が過負荷にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は最大でも80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックからの排熱やラックへの通気が十分に行えるようにしてください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度の範囲内で使用できるように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

技術サポート

インターナショナル

- ◆ トラブルシューティング、マニュアル、およびソフトウェアアップデートを含むオンラインテクニカルサポートの場合：<http://eservice.aten.com>
- ◆ 電話によるサポートについては、p.iiiを参照してください。

北米

Eメールによるサポート		support@aten-usa.com
オンライン テクニカルサポート	ドキュメント ソフトウェア更新 トラブルシューティング	http://eservice.aten.com
電話によるサポート		1-888-999-ATEN ext 4988 1-949-428-1111

お問い合わせいただく際には、あらかじめ以下の情報をご用意ください。

- ◆ 製品型番、シリアル番号、購入日。
- ◆ OS、リビジョン・レベル、拡張カード、およびソフトウェアを含むコンピュータ構成。
- ◆ エラー発生時に表示されるエラーメッセージ。
- ◆ エラーに至るまでの操作の順序。
- ◆ 他にも役立つと思われる情報。

仕様

コネクタ	
コンソールポート	USB Type-A メス×4 (Blue)
	DisplayPort メス×2 (Black)
	HDMI メス×2 (Black)
	オーディオライン入出力ジャック×1 (Black)
	DB-9ピン オス×1 (Black)
電源	ロック式DCジャック×1 (Black)
LANポート	RJ-45×2 (Blue)
プッシュボタン	
電源	プッシュボタン×1
リセット	プッシュボタン×1
LED	
電源	1 (Blue)
ストレージ	1 (Orange)
消費電力	
DC 19V:33W:420 BTU/h	
注意:	
◆ ワット単位の測定値は、外部負荷がない場合におけるデバイスの標準的な消費電力を示します。	
◆ BTU/h単位の測定値は、フル負荷時におけるデバイスの電力消費量を示します。	
解像度	
最大4K 4096 × 2160 @ 60Hz	
遅延時間	
50ms未満	
動作環境	
動作温度	-10~50 °C
保管温度	-40~85 °C
湿度	10~90%RH、結露なきこと

ケース	
ケース材料	メタル
重量	1.34kg
サイズ(W×D×H)	200.0×190.0×41.8mm

トラブルシューティング

操作全般

問題	解決方法
アカウントを取得したものの、ログインできない。	<ul style="list-style-type: none">◆ ユーザーネームとパスワードが正しく入力されていることを確認してください。◆ KA8585にアクセスするために必要な権限が、管理者から付与されていることを確認してください。
ネットワーク接続が突然失われた。	KA8585への接続を終了し、30秒以上経過してから再度ログインしてください。
ビューパネル(制御モードとアレイ監視)の映像ソースが誤った位置に表示される。または、スケーリングが正しく表示されない。	<p>以下の状況が原因となる場合があります。該当する項目がある場合は、対策を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">◆ モニターを頻繁に抜き差ししている。◆ モニターの電源を頻繁にオン/オフしている。◆ 互換性のないモニターを使用している。
KA8585のディスプレイが歪んでいるため、自動同期を実行しても問題が解決しない。	ポートを別の解像度のポートに切り替えてから、元に戻してください。上記で問題が解決しなかった場合は、ポートで実行されているシステムの解像度とリフレッシュレートを変更してください。その後、新しい解像度で実行するか、元の解像度に戻してみてください。
IPインストーラーのデバイスリストに、ATEN over IP製品が一覧表示されない。	<ul style="list-style-type: none">◆ 自動検出を正常に機能させるには、ブロードキャスト機能が有効になっていることを確認してください。確認は、製品本体またはルーターから行います。◆ オーディオ検出が正常に機能するように、ファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアを一時的に無効にしてください。◆ ATEN over IP製品とPCが同じネットワークセグメントにあることを確認してください。

課題	解決方法
<p>ATEN over IP製品が予期しないタイミングで再起動する。</p>	<p>次の操作は、予期しない本体の再起動を引き起こす可能性があります。該当する操作を行っている場合は、繰り返さないようご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 短時間(約2分未満)に複数の機能を連続してクリックしたり、ポートを頻繁に切り替えたりする。 ◆ システム設定の保存中やファームウェアアップグレード中に本体を操作しようとする。

マウス操作

課題	解決方法
<p>マウスまたはキーボードが応答しない。</p>	<p>コンソールポートからケーブルを外し、もう一度差し込んでください。</p>
<p>マウスの動作が極端に遅い。</p>	<p>転送されるデータ量が多いため、マウスの表示が動作に追いつかないことが考えられます。ビデオ品質を下げ(p.17参照)、送信されるビデオデータを減らしてみてください。</p>

ATEN保証ポリシー

製品の保証内容は、製品カテゴリー・購入国・地域・販売店によって異なります。そのため、保証条件やサポート範囲を確認する際は、次の順序でご確認ください。

1. まずは、購入元（販売店または代理店）へ、購入時点の契約条件や保証期間、購入元が提供する付帯サービスなどをご確認ください。
2. ATEN の公式ウェブサイトで、購入した国／地域を選択し、該当するサポートセンターの情報と製品保証規定ページをご確認ください。購入国ごとに保証ポリシーや対応窓口が異なりますので、購入元のサービス内容と保証規定を確認してください。

さらに技術的な支援や手続きが必要な場合は、最寄りの ATEN 営業担当者またはサポート窓口へお問い合わせください。

© 著作権2026ATEN®International Co., Ltd.

リリース: 2026-01-15

ATENおよびATENロゴは、ATEN International Co., Ltd.の登録商標です。無断転載を禁じます。その他すべてのブランド名および商標は、それぞれの所有者の登録商標です。